

金沢城公園 鼠多門



1884(明治17)年に焼失した鼠多門を史跡である金沢城公園の元の位置に史実に基づき復元した建物である。

文化庁から発掘遺構、古写真、絵図、古文書、類例などを基にした復元設計の内容に対して許可を受け、建築基準法適用除外の手続きをとって復元整備した。



一階内部



二階内部



- 復元設計
- ・発掘遺構を保護した構造計画
 - ・古写真に基づいた外観設計
 - ・遺構、絵図に基づいた平面設計
 - ・類例(石川門、三十間長屋など)に基づいた断面設計
 - ・発掘した礎石の再利用

- 外観の特徴
- ・黒漆喰目地による海鼠壁
 - ・鉛瓦葺屋根
 - ・武者窓
 - ・櫓造りの門と帯金物

- 内部の特徴
- ・門部分は総ケヤキ造り
 - ・整備階段と昇降機などを除いて内部も復元空間
 - ・檜部分は全て一・二階通し柱
 - ・檜部分は能登ヒバによる側柱、壁板、床板(門上を除く)、窓枠

 : 県産材の採用

柱、土台、屋根下地材、壁板・床板(門上を除く)などは能登ヒバ材
 屋根化粧裏板(天井材)は杉材
 構造材から仕上材まで県産材の採用に努めた。

DATA
⑤公園休憩施設
金沢市丸の内地内
平成29年12月～令和2年7月
木造:地上2F、地階1F
延べ面積:323.84㎡